

平成 2 5 年度事業計画書

1 事業実施方針

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進・普及及び施設周辺の自然環境保全や希少植物の保護事業に取り組むなど、安全で安心な生活環境の保全を促進するため、次の事業を積極的に推進する。

2 廃棄物処理事業（定款第 4 条第 1 号及び第 2 号関係）

実 施 項 目	目 標
適正な処理場運営・管理の推進 ① 廃棄物処理については、関係法令を遵守し適正に処理する。 ② 廃棄物排出業者等から廃棄物受入れ動向の把握を行い、搬入調整を行う等廃棄物の処理需要に即した対応で処理する。 ③ 環境・水質調査の実施による環境影響評価の継続的監視を行う。	受入目標量68,000t (別表「廃棄物処理計画」) 動向等把握の実施 基準超過 0 日

3 廃棄物適正処理及びリサイクル推進・普及事業（定款第 4 条第 3 号及び第 4 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 廃棄物の適正処理等に関する推進・普及啓発 ① 環境イベント等において、廃棄物適正処理の推進・普及啓発とともに、リサイクル事業の事例紹介、リサイクル促進の取組み事例等について啓発活動を行う。 ② 県内外からの視察者の受け入れを促進するとともに、施設公開を行い、廃棄物の適正処理方法、公害防止の取組状況等を説明し、生活環境保全についての意識啓発・普及活動を行う。 ③ ホームページを充実し、産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等に関する情報を積極的に公開する。	3 回/年以上実施 8 月 施設公開 1 回/月以上更新
(2) リサイクルの推進・普及等 ① 焼却施設から発生する熱源を岩手県設置の余熱利用施設に安定供給する等により、サーマルリサイクルの推進・普及を行う。 ② 余熱利用施設への常設パネル展示等により、利用者のサーマルリサイクルについての意識啓発・普及活動を行う。	熱源安定供給

4 自然環境保全等事業（定款第 4 条第 5 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 施設周辺自然環境保全 センター周辺道路等の環境美化活動等を実施し、自然環境の保全を行う。	春秋 2 回実施
(2) 希少植物保護 ビオトープに移植した希少植物の生育状況を確認するとともに、自生する植物の生態系保護活動の一環として観察会を開催し、地元小学生や地域住民と一緒に環境保全の大切さを学ぶ環境学習の場とする。	8 月 観察会開催

5 管理業務等（定款第 4 条第 6 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 第Ⅱ期最終処分場 C 区画整備工事の着手 災害廃棄物の受入等に伴い、第Ⅱ期最終処分場の未供用埋立区画である C 区画の整備工事に着手する。	C 区画整備工事の着手
(2) 焼却業務の今後のあり方 焼却施設が 17 年を経過し経年劣化が著しく、今後、更なる修繕費の増額が見込まれることから、焼却業務の今後の方針を検討し決定する。	焼却業務実施期間の最終決定

平成25年度 収支予算書 (損益計算書ベース)

総括

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後の予算※)	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	3	3	0	
②事業収益				
処理事業収入	1,641,000	2,260,000	△ 619,000	
処理事業収入(建設基金振替)	10,200	14,020	△ 3,820	
③受取補助金等				
受取補助金	360	360	0	
受取補助金等振替額	166,098	201,500	△ 35,402	
④雑収益				
受取利息	1,502	504	998	
雑収益	3,195	3,195	0	
経常収益計	1,822,358	2,479,582	△ 657,224	
(2) 経常費用				
①事業費	(1,527,039)	(2,053,430)	(△ 526,391)	
役員報酬	2,953	2,928	25	
給料手当	18,176	16,029	2,147	
臨時雇賃金	11,878	11,877	1	
退職給付費用	1,328	1,840	△ 512	
福利厚生費	6,398	5,096	1,302	
賞与引当金繰入額	1,291	1,039	252	
旅費交通費	1,070	540	530	
通信運搬費	4,490	4,258	232	
減価償却費	523,509	622,518	△ 99,009	
消耗品費	72,620	54,186	18,434	
修繕費	182,593	152,315	30,278	
点検料	48,187	48,095	92	
燃料費	59,259	58,637	622	
光熱水料費	76,396	60,793	15,603	
賃借料	7,240	8,316	△ 1,076	
保険料	18,380	18,329	51	
租税公課	27,375	27,150	225	
支払負担金	16,729	16,633	96	
支払利息	35,858	41,407	△ 5,549	
手数料	2,294	2,221	73	
委託費	169,560	192,251	△ 22,691	
貸倒損失	2,000	3,000	△ 1,000	
貸倒引当金繰入	3,000	3,000	0	
災害防止準備金繰入	233,440	700,000	△ 466,560	
その他 事業費	1,015	972	43	
②管理費	(8,799)	(7,460)	(1,339)	
役員報酬	3,546	2,931	615	
給料手当	1,690	1,341	349	
退職給付費用	113	155	△ 42	
福利厚生費	748	660	88	
賞与引当金繰入額	120	140	△ 20	
旅費交通費	150	140	10	
減価償却費	481	482	△ 1	
光熱水料費	307	252	55	
租税公課	191	191	0	
支払利息	108	133	△ 25	
手数料	1,000	700	300	
その他 管理費	345	335	10	
経常費用計	1,535,838	2,060,890	△ 525,052	
当期経常増減額	286,520	418,692	△ 132,172	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
貸倒引当金戻入額	3,000	4,531	△ 1,531	
経常外収益計	3,000	4,531	△ 1,531	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1,000	18,000	△ 17,000	
経常外費用計	1,000	18,000	△ 17,000	
当期経常外増減額	2,000	△ 13,469	15,469	
税引前当期一般正味財産増減額	288,520	405,223	△ 116,703	
法人税・住民税及び事業税	44,100	86,400	△ 42,300	
当期一般正味財産増減額	244,420	318,823	△ 74,403	
一般正味財産期首残高	2,181,078	1,862,255	318,823	
一般正味財産期末残高	2,425,498	2,181,078	244,420	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	166,098	201,500	△ 35,402	
当期指定正味財産増減額	△ 166,098	△ 201,500	35,402	
指定正味財産期首残高	1,199,099	1,400,599	△ 201,500	
指定正味財産期末残高	1,033,001	1,199,099	△ 166,098	
III 正味財産期末残高	3,458,499	3,380,177	78,322	